

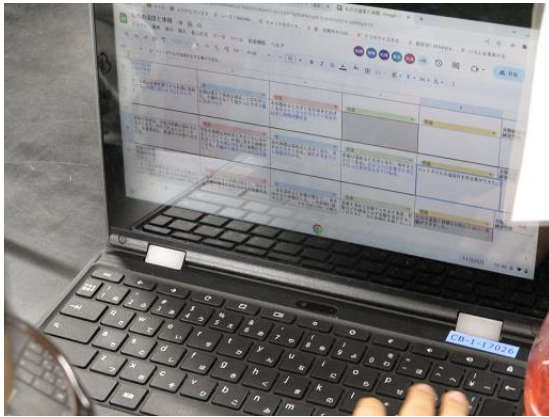
## リーディングDXスクール事業【実践事例】

千葉市立川戸小学校

## 【取組内容①】算数・社会におけるデジタル教科書や二次元コードを活用した「自由進度学習」の取組

## 【主な使用ソフトなど】

デジタル教科書、カメラ、スプレッドシート、Google検索



①教師が導入のガイダンスにて単元の学習内容と学習予定時間をスプレッドシートにまとめて児童に配付し、それをもとに各自で学習計画を立てた。このシートには学習後の振り返りも書けるようにした。

②授業では個々の学習ペースや選択した内容に合わせて、自主的に学習を進めていった。デジタル教科書の活用やGoogle検索での調べ学習やスライドに学習成果をまとめるなど、各自のめあてに合わせて取り組む様子が見られた。

③インターネット上にある学習に活用できる情報もすぐに使用できるように、URLを二次元コードにしたものを印刷して掲示した。このことにより授業における検索時間を短縮することができたので、学習効率を上げることもつながった。

【成果】1人1台端末を単元内自由進度学習に活用し、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させた授業を行うことができた。とくに1人1台端末は個々の学習ペースや興味・関心に合わせて学習を進めることができるので、一斉授業のよりも児童の学習意欲の高まりが感じられた。